

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS NURSE LETTER

11 Month



学会報告

老年看護

南6病棟 河端 三代

9月18、19日に徳島で「次世代に伝える生き方～自律 生きがい そして出会い～」をテーマに開催された老年看護学会に参加しました。“腰痛い ああ膝痛い 私もよ” ついついぼやいている私。少しでも看護の参考になることを見出たく学会に参加し、老人に対する意識が変わりました。年取る＝老化ではない、年取る＝人生の花の積み重ね！たとえ寝たきりや認知症があっても、高齢な患者様程たくさんのいろいろな花を咲かせています。少し違う角度から接して素敵な花を頂き、また私達は全ての人に薬に勝る美しい花をお届けできれば、ぼやきも笑い声に変わるだろうと思いました。

成人看護 I

南5病棟 崎山 利枝

10月1、2日に松山で開催された第39回日本看護学会成人看護Iの学術集會に参加しました。「患者の力を活かす急性期看護」をテーマに研究発表や講演を聞き、危機的状況にある患者や家族に対して、身体的側面だけでなく、心理社会的側面についての看護介入の重要性について再確認することができました。

今後も今回の学会で学んだことを生かし、急性期看護の質の向上を目指して、『知』『技』『心』を融合してケアを行なえるように、日々努力していきたいです。

発表してきました！

多重課題シュミレーションを取り入れた新人教育 荒井恵子
病院職員の百日咳罹患と対応策について 泉敦子



日本職業・災害学会 南5病棟師長補佐 荒井恵子

11月7、8日に東京六本木ヒルズで開催された、第56回職業災害学会に参加しました。「勤労者医療—更なる質の向上を求めて—」をメインテーマに医療安全・新人教育・ストレス・パス等、様々なテーマでの発表がありました。安全に関する発表では、使用している物品やインシデントに対する意識の高さなど、我が「愛媛労災病院」は他施設には劣らないレベルの高さを実感して帰ってきました。更なる看護の質向上のために、専門看護師・認定看護師の育成・活用が重要となってきます。

皆さん！ぜひ興味のある分野での認定看護師を目指して



東予DM研究会

南6病棟師長補佐 奥田育子

10月30日に新浜医師会館にて東予DM研究会が開催され、当院の渡部夏子看護師の司会で進行されました。糖尿病患者を事例にした退院調整についてグループワークでディスカッションを行い、意見交換を行ないました。近隣の施設より医師・看護師・栄養士薬剤師など様々な視点での考え方を知ることができ、多くの学びがありました。

糖尿病患者の看護には苦手意識をもつ看護師も多いかもかもしれませんが、様々な職種での語り合いを通して糖尿病に興味を持つ機会となるのではないかと思います。



つばき・・・

NOV.2008

優しさは許すこと。